

令和8年2月20日

対馬市議会議長 春 田 新 一 様

産業建設委員会

委員長 糸 瀬 雅 之

委員会意見交換会報告書

対馬市議会基本条例第22条の規定により意見交換会を実施しましたので、その概要を下記のとおり報告します。

「意見交換会概要」

1. 期 日 令和8年2月13日（金）
2. 場 所 対馬市役所豊玉庁舎 3階大会議室
3. 出席者 糸瀬委員長、佐伯副委員長、吉野委員、東委員、
波田委員、上野委員、島居委員
対馬市農業振興公社
日高理事長、春日亀副理事長、瀧本事務局長
4. 内 容 (1) 対馬市議会の概要について
(2) 意見交換会
5. 概 要 (1) 委員長挨拶後「議会の概要」を説明
(2) 瀧本事務局長より対馬市農業振興公社の事業説明
(3) 意見交換

○対馬市農業振興公社からの説明内容

対馬市農業振興公社の設立の趣旨は、地域の特徴と資源を活用した産業振興を積極的に推進する為の事業を実施するとともに、農業経営の安定と魅力あるふるさとづくりを推進し農作業の受託事業、対馬の伝統的作物及び畜産業を守り、自社で多様な品目の栽培事業を行い、「作食一貫」をモ

ットーに対馬の農業を元気にする目的で設立されています。

<令和6年度事業概要等について>

令和6年度の事業実施状況は、年々資金的に厳しくなっており、職員の高齢化や人材不足の中、農業振興公社の運営を安定させるべく栽培事業では、水稻、WCS、そばなどの水田活用助成金等の増額を目指しました。そばは、天候等に恵まれ過去最高の収穫高を更新し、15トンを超える収穫量を得ることができました。しかしながら、全島的に収量の増により、出荷価格が下がった結果となりました。

畜産部門は、受胎率の向上を目指し、良質の子牛を出荷しようと、職員の頑張りにより、単発ではありますが、自社での過去最高の高値で落札された子牛もいて、徐々に体重の載った子牛の出荷ができるようになってきました。

継続事業会計の農林作業支援・受託及び農地利用集積円滑化事業では、全事業所で年間152件、面積46.8ha、金額644万3,162円であり、主な受託内容は、水稻（4月下旬～6月上旬）、耕運・代掻き・田植え、（9月～10月）稲刈り・乾燥・もみ運搬（12月～4月）畔塗り、野菜は（周年）畑耕運、そばは（10月～11月中旬）刈取り・乾燥・選別・配達、飼料作物は（4月上旬～11月下旬）刈取り・反転・結束・ラップ、回送業務は（周年）で、作業機械・建設機械等の運搬業務を行っています。

施設管理事業の受託施設は、木坂御前浜園地管理業務、木坂展望台及び田鶴原公園管理業務、市道・農道・林道除草業務、各公園・トイレ管理業務を行っています。

肥育・繁殖・堆肥事業は、飼養頭数のうち期首残頭数は42頭（繁殖26頭、子牛16頭）、新生子牛18頭、出荷頭数22頭、死廃事故3頭、期末残頭数35頭（繁殖21頭、子牛14頭）であり、令和6年度の販売実績は、子牛18頭、1,100万円で、繁殖牛4頭、44万4,368円となっています。

特産物加工販売事業のうち、そば道場の運営を行っていましたが、令

和6年始めに人員不足となり、令和6年8月で休館を余儀なくされました。

栽培事業の主な作物は、そば（作付面積2,050a、収穫量15.46トン）、イタリアン（作付面積2,160a）、ソルゴー（作付面積640a）、ブルーベリー（栽培面積70a、収穫量340kg）、WCS飼料米（作付面積370a、収穫個数3,142個）、食料米（作付面積430a、15.961トン）となります。

○主な意見交換の内容

対馬市における、農業・畜産業を取り巻く現状は大変厳しい状況である。近年のロシア・ウクライナ情勢の影響による、燃油・肥料・資材高騰などの影響を受けて、各種物価高騰対策が喫緊の課題であるが、対馬市の農業に従事する後継者不足、高齢化、耕作放棄地の増加などによる、課題が山積している現状である。

農業振興公社も、職員の高齢化や、人員不足、車両機械や農業用機械の老朽化により今以上に農地の受け入れや、事業の拡大は限界に近い困難な状況である。今月の理事会において、肥育・繁殖部門の廃止を検討し、今後の事業計画の見直しを行ったところである。

対馬の赤牛は全島的に減少傾向にあるために、何とか継続して、事業を進めて頂きたいと思い、委員会の意見として、担当部署との再度協議をお願いした。

農業振興公社としては、以前のように対馬市からの運営費補助金を検討して頂き、持続可能な事業運営を今後も続けていきたい。

今後の方向性を、対馬市ともしっかりと協議を行って欲しい。

今回の対馬市農業振興公社との意見交換会は、課題や問題点など様々な意見があり、対馬市としてしっかりとサポートすべきであると思います。。

今後においても、各団体と意見交換を重ねることにより、本委員会の活動の参考にするとともに、併せて議会報告会のあり方についての参考にしていきたいと思います。

以上で、産業建設委員会の報告といたします。